⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 4 : 00 P.M. 24 September 2014

⑸　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system : 4 : 00 P.M. 29 October 2014 (tenders brought with 4 : 00 P.M. 29 October 2014 or submitted by mail 4 : 00 P.M. 29 October 2014)

⑹　Contact point for tender documentation : Contract Division, Tohoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, 9―15 Futsuka-machi Aoba-ku, Sendai-shi, Miyagi-ken, 980―8602 Japan TEL 022―225―2171 ex. 2526

別表１　本入札手続きに係る期間等

申請等の受付は、土曜日、日曜日及び祝日等を除く、午前９時から午後６時（電子入札の場合）。又は、午前９時15分から午後６時（紙入札の場合（上記４⑴の担当部局の受付時間））とする。ただし、申請期限等の最終日の受付時間は、電子・紙入札ともに午後４時までとする。

①　入札説明書の交付期間　公告の日から平成26年10月29日午後４時まで

②　申請書等の提出期限　平成26年９月24日午後４時まで

②’　見積書の提出期限　平成26年10月６日午後４時まで

③　入札の締切　平成26年10月29日午後４時まで

④　開札日時　平成26年11月５日午前10時30分

⑤　入札保証金の納付等に係る書類の提出期間　競争参加資格確認通知の翌日から入札締切の日まで（利付国債の提供の場合は、平成26年10月16日まで）

○第２号

１　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名　国道45号白井地区道路工事（電子入札対象案件）

⑶　工事場所　岩手県下閉伊郡普代村第16地割～九戸郡野田村野田秋田地内

⑷　工事内容　掘削工Ｖ＝306,000㎥、盛土工Ｖ＝14,000㎥、法面工Ａ＝34,000㎡、地盤改良工１式、石・ブロック積（張）工１式、擁壁工１式、排水構造物工１式、函渠工Ｎ＝１基、工事用道路工１式、仮橋・仮桟橋工１式、土留・仮締切工１式、（白井トンネル工）Ｌ＝2,058m、（力持高架橋）橋台工Ｎ＝２基、橋脚工Ｎ＝２基、（野田ＩＣ橋）橋台工Ｎ＝１基、橋脚工Ｎ＝５基、（オンランプ橋）橋台工Ｎ＝２基、（オフランプ橋）橋台工Ｎ＝２基、（野田村跨道橋）橋台工Ｎ＝２基

⑸　工期　契約締結日の翌日から平成30年２月16日まで

⑹　使用する主要な資機材　コンクリート約54,000㎥、鉄筋約1,700ｔ、Ｈ形鋼約1,400ｔ、ロックボルト約800ｔ

⑺　工事実施形態　本工事における工事実施形態は下記のとおりとする。

①　本工事は、競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という）及び競争参加資格確認資料（以下「確認資料」という）を提出した者のうち、企業の施工実績及び技術者の施工経験等を評価し、その評価が上位の者に限り技術提案を求め、総合評価を行う段階選抜方式の試行工事である。

②　本工事は、総価契約単価合意方式の対象工事である。

③　本工事は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する入札時ＶＥ方式（総合評価落札方式）の適用工事である。

④　本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

⑤　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。

⑥　本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、『地区』（施工箇所）ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行工事」である。

⑦　本工事は、「表層目視判定」、「コンクリート施工状況把握チェックシート」を実施するコンクリート構造物品質確保対策の試行工事である（なお、本工事で適用する検査基準については、従来どおり共通仕様書に基づくものである）。

⑧　本工事は、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。

⑨　本工事は、地域外（遠隔地）からの建設資材等の調達に係る費用について、支払実績により設計変更を実施する試行工事である。

⑩　本工事は、「土木請負工事工事費積算基準」等により各種工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率（率分）及び現場管理費率にそれぞれの補正係数を乗じることとしていることから、見積にあたっては留意すること。

⑪　本工事において主任技術者を配置する場合、密接な関係のある二以上の工事を同一の建設業者が近接した場所（相互の間隔が10㎞程度）において施工するものについては、同一の専任の主任技術者がこれらの工事を管理することができるものとする。

なお、主任技術者を兼務する場合は、入札説明書別記様式３－１及び３－２に現在従事中の工事及び本工事と重複する場合の対応措置等について記入すること。

⑫　本工事は、直接工事費について、見積りの提出を求める「見積活用方式」の試行工事である。

本工事は、直接工事費の「橋台工・橋脚工・函渠工」について、見積書の提出を求め、予定価格作成の為の参考とする工事である。

見積採用にあたっては、見積単価（歩掛・材料単価・機械経費（賃料等））を採用することとし、労務単価については、公共工事設計労務単価を採用する。また、採用した見積単価（歩掛・材料単価・機械経費（賃料等））については、技術提案等の採否の通知をした日に電子入札システムにより配布を行う。

また、増工工種の見積活用については、主任監督員が指示した見積条件明示書に対して、見積もり及びその妥当性を証明する資料が提出され、妥当性が確認されれば、変更協議を行うことができるものとする。

⑻　本工事は、資料の提出、入札等を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたい者は、支出負担行為担当官の承諾を得て紙入札方式に代えることができるものとする。

２　競争参加資格

次の⑴１）から12）までに掲げる条件を満たしている者により構成されている特定建設工事共同企業体であって、「競争参加者の資格に関する公示」（平成26年９月８日付け東北地方整備局長）に示すところにより東北地方整備局長（以下「局長」という。）から国道45号白井地区道路工事に係る特定建設工事共同企業体としての競争参加者の資格の認定を受けている者、又は次の⑴１）から12）までに掲げる条件を満たしている単体企業、経常建設共同企業体（甲型）であること。

なお、特定建設工事共同企業体にあっては、経常建設共同企業体を構成員とすることはできない。

⑴　一次審査　一次審査の申請書及び確認資料を提出した者のうち審査評価点合計が上位８位以内の者（ただし、審査評価点の合計が同点の者が複数いる場合は、８位同点の者全て）に競争参加資格を与える。なお、特定建設工事共同企業体にあっては代表者のみを審査対象とする。

また、国内実績のない企業が国外の施工実績をもって確認資料を作成した場合は支出負担行為担当官が内容を審査のうえ競争参加資格を認めるものとする。

１）予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

２）東北地方整備局における一般土木工事に係る一般競争参加資格の認定を受けていること（会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。）。